

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	鐘ヶ江勇哉	大学名	岐阜大学
作品名	ものづくり体験のための製作題材「木製ボックスティッシュケース」	人数	1名

目的 小学校5・6年生を対象とし、中学校技術・家庭科につながる実用的なものづくりの意義を体験できる題材として「ボックスティッシュケース」を開発。正味4時間で製作する。

概要：外寸幅265mm、接地面奥行144mm、上面奥行130mm、最大高さ174mm（側板は長辺190mm、短辺130mm、高さ130mmの台形）。主材料は10mm厚のキリ集成材、仕切り板には3mm厚のラワン合板を用い、真鍮釘と木工用ボンドを併用したうち付け継ぎによって組み立てられる。



開発のポイント



- ティッシュボックスのセット（最初一枚のひき出し）がしやすいように、前板と上板の前半部を一体化して開閉式に
- 蝶番は用いず、側板から突き出した釘を支点に
- 市販の50mm厚、80mm厚のボックスをどちらも収納できるよう2段の溝切り

- 金属ダボを前板の留め具とする
- 製作品を傾けたときに留め具が抜け落ちてしまうのを防ぐため、上板の裏側にネオジム磁石を貼り付けて吸引
- 留め具の取り外し用のマグネットピンはアクリル板の隅に貼ったM4のワッシャに固定



- 曲げ加工をしたアクリル板を背板としてはめ込む
- 下段の楔形のスペースは小物入れとして活用
- アクリル板は透明と乳白色の2種類から選択



子どもたちの様子, 作業のねらい



- 糸鋸盤やベルトサンダの使用など、難度の高い作業を子ども自身の手で行うことで達成感や満足感を

- 素地磨きや仕上げ剤による拭き塗り塗装など、手間のかかる作業を行うことで製作品に愛着を

実践の概要と評価

平成30年度岐阜大学教育学部フレンドシップ事業
「こどものためのものづくり教室」
日時：平成30年10月13日（土）9:30～16:00
場所：岐阜大学教育学部
URL：<http://tech.ed.gifu-u.ac.jp/>

- 小学生5・6年生を対象として8名が参加。大学生が支援して正味4時間の作業で全員が完成できた。
- 事後の質問紙調査では「製作品そのものへの満足度」「製作作業の楽しさ」とともに100%と肯定的な評価が得られた。